ミサワ・リフォームバス『癒湯』

（ミサワ　FX・SXリフォーム）

MSW-1220-CR(L)-W・MSW-1220-CR(L)-I

施　工　説　明　書

施工に先立って、この施工説明書をよく読み手順に従って正しく施工してください。

⚠ 警　告

●電気工事は電気設備技術基準、内線規定など関連する法令・法規に従って、必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。

※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰等されることがあります。

●電源線など各配線に、以下のことをしないでください。

・傷つける。　・無理に曲げる。　　・無理な力を加える。

・束ねる。　・重いものを載せる。　・挟み込む。

※火災、漏電や故障の恐れがあります。

⚠ 注　意

-取付前の注意-

換気扇、換気乾燥機、暖房機等のオプション品に同梱されている取付説明書をよく確認の上、取付けを行ってください。

●システムバスルームの取扱説明書および暖房機、換気扇、換気乾燥機等機器に同梱されている取扱説明書はお客さまに製品を正しく使用していただくための重要な書類です。

取付作業完了後、お客さまの手元へ届くように建築工事責任者に依頼またはお渡しください。

-取付作業にあたっての注意-

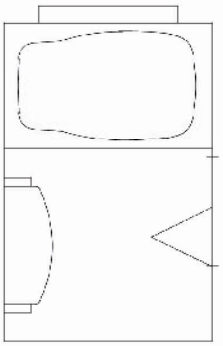
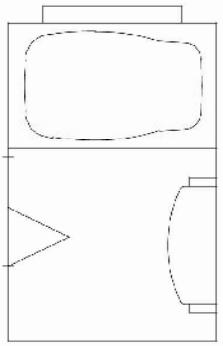
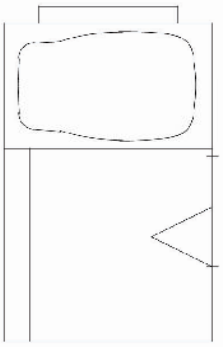
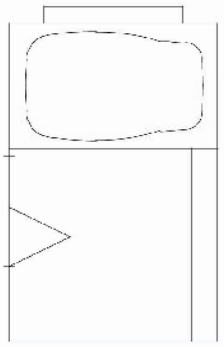
●作業は手袋着用の上行ってください。壁、防水パン等FRP裏面、および金属部品等の端部は取扱いにご注意ください。

●FRP、裏面保温ウレタンは可燃物です。タバコの火、バーナー等の火気に気をつけてください。

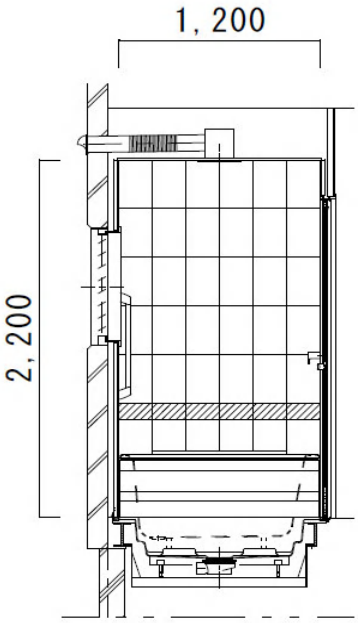
製造元　マルシン

発売元　小笠原

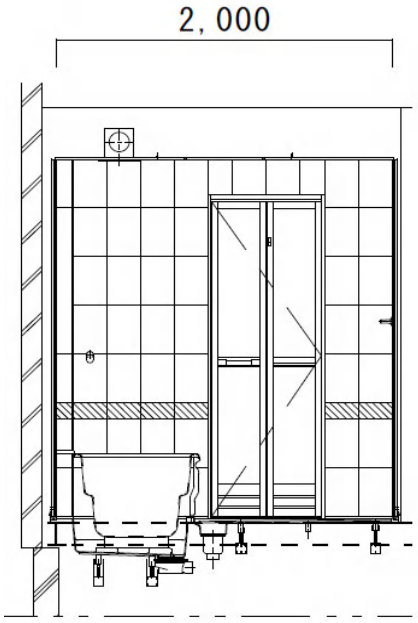
ミサワ・リフォームバス『癒湯』 バリエーション（1F　専用）

標準カウンター（W型）	MSW－1220－CR－W	MSW－1220－CL－W
		
ストレートカウンター	MSW－1220－CR－I	MSW－1220－CL－I
		

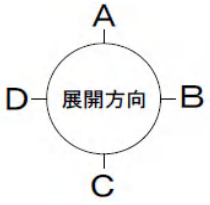
オリジナルユニットバス　平面・立面図（1F　専用）※下記図は、MSW-1220-CR-Wタイプになります。

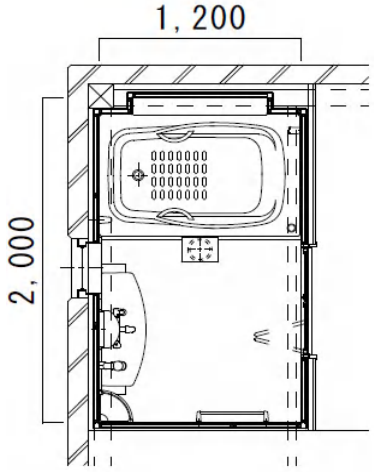


A　立面図

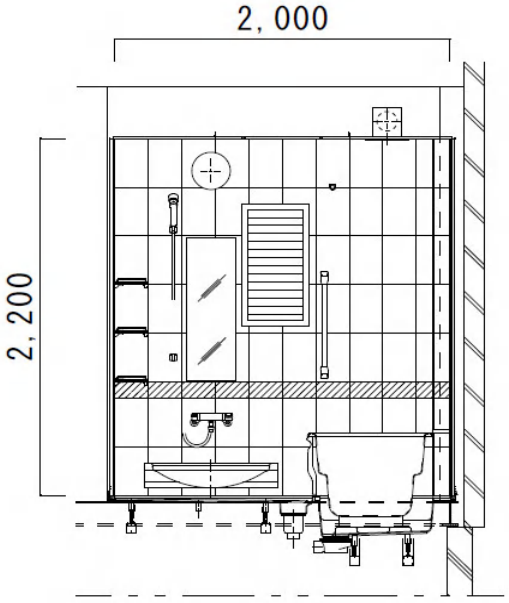


B　立面図

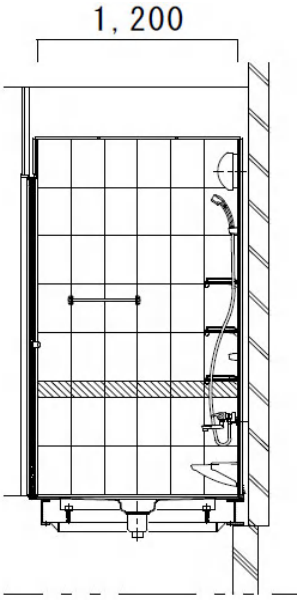




平面図



D　立面図



C　立面図

【施工手順】

1. 施工前の確認
2. 浴室（既設ユニットバス）の解体
3. 吊り架台の取り付け
4. 窓枠取付・アングルピースの取付
5. 給湯・給水・排水管の取り回し、立上げ
   追い焚き管の取り付け（オプション仕様）
6. 防水パンの据付
   排水トラップ・配管接続・追焚管接続
   浴槽・洗い場側防水パンの据え付け
   浴槽側防水パンと洗い場側防水パンとの接合
7. 壁パネルの組立
8. 給湯・給水管の取付け
9. ドアの取付け
10. 天井パネルの取付け
11. シリコンコーキング
12. 各種補助金具の取付け
13. 浴槽の取付け
14. オプション/追い焚きについて
15. 洗場カウンターの取付け
16. 浴槽エプロンの取付け
17. 器具の取付け
18. 施工後の確認

20. 参考資料（PALC外壁貫通穴加工）

1　施工前の確認

□　建物平面図より、間取り・浴室ドア位置や勝手方向などを確認してください。

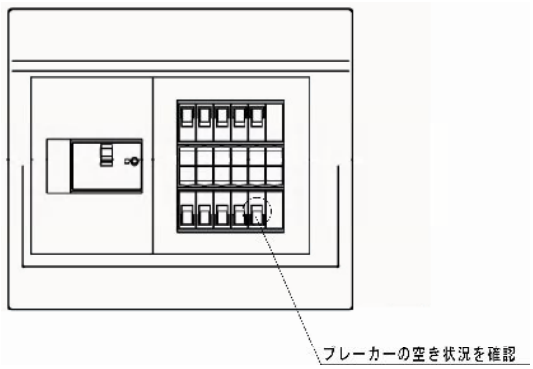
□　搬入経路の確認してください。
※該当建物の玄関から浴室までの通路から、部材搬入できることを確認してください。
（6ページに参考資料をご参照ください）

□　給湯器の確認してください。
（追い焚き機能の有無　※追い焚きはオプションです）

□　資材置場の確認をしてください。
※敷地内にユニットバスの資材を仮置き出来るスペースを確認してください。

□　廃材置場の確認をしてください。
※敷地内にユニットバスの資材を仮置き出来るスペースを確認してください。

□　オプション/浴室暖房乾燥機取り付けする場合は、
配電盤ブレーカーの空き状況を確認してください。



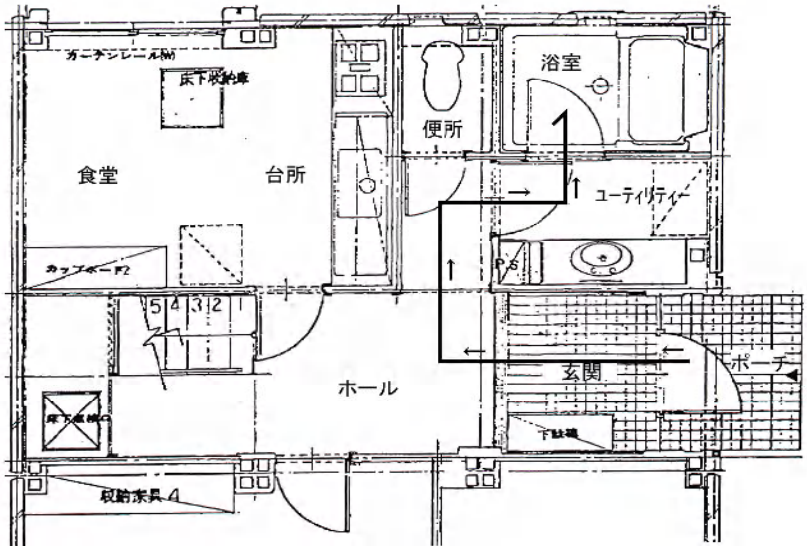
□　ユニットバス部材を部材管理表と部材員数表にで確認してください。また、破損の有無等を確認してください。

【参考資料】

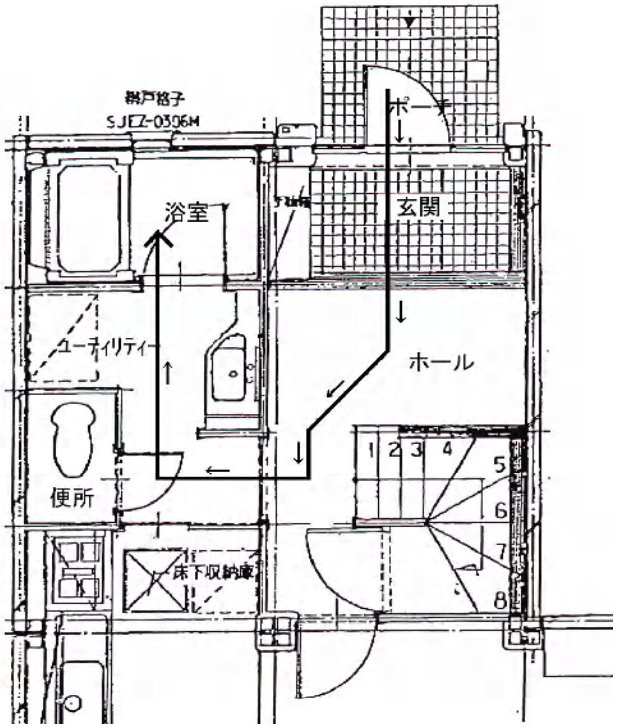
□　搬入経路の確認について

※該当建物の玄関から浴室までの通路から、部材搬入できることを確認してください。

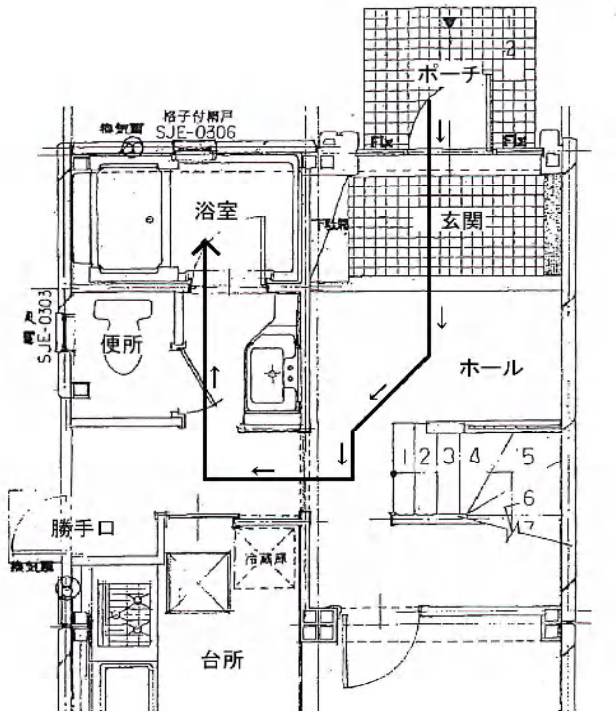
[参考平面図1]



[参考平面図2]

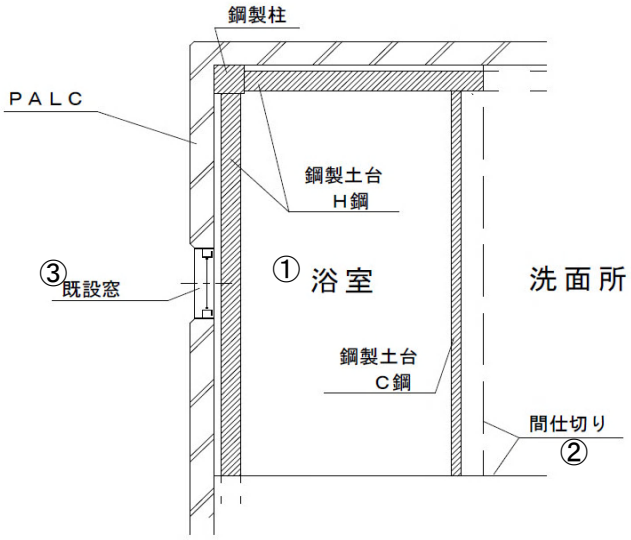


[参考平面図3]



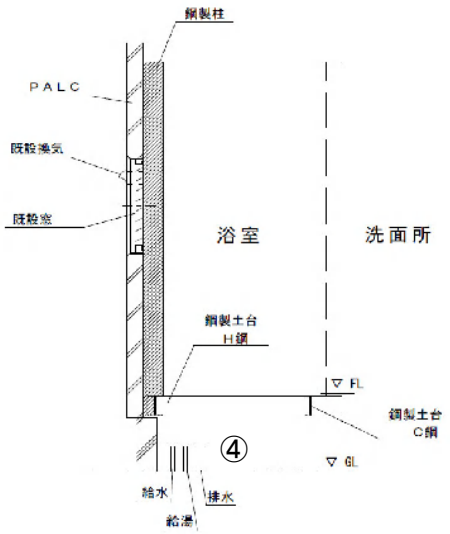
2　浴室（既設ユニットバス）の解体

〈1〉 既設ユニットバス本体及び取付用架台・付け梁等を、全て撤去してください。
〈2〉 洗面所との間仕切り壁も同様に撤去してください
〈3〉 既設窓枠の同様に、撤去してください。

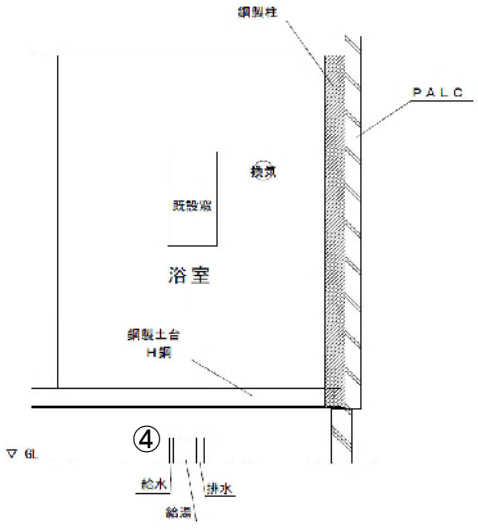


平面図

〈4〉 給水・給湯管及び配水管は任意の位置（土台より下）で、切断してください。

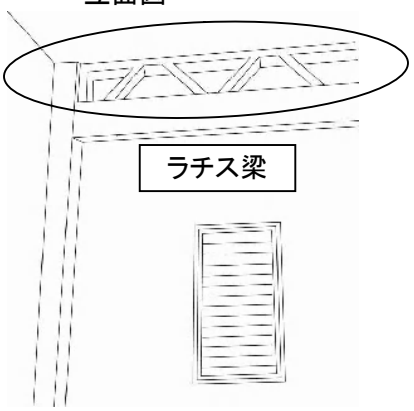


立面図



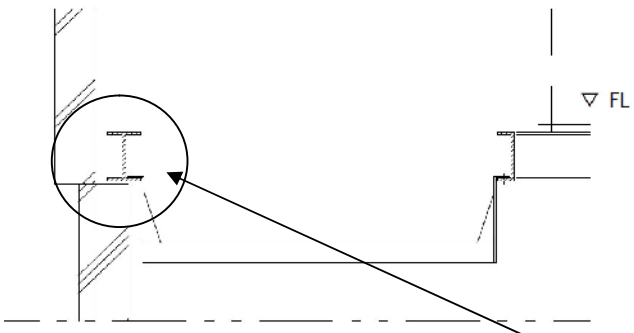
立面図

〈5〉 解体後、外壁側上部にラチス梁の有無を確認してください。
ラチス梁（躯体）が有る場合は、
別途パネル・天井の梁加工が必要となります。

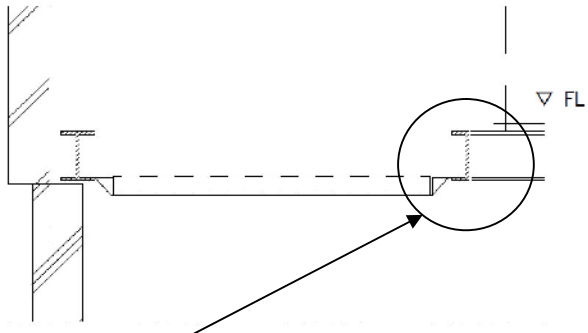


3　吊り架台の取付け

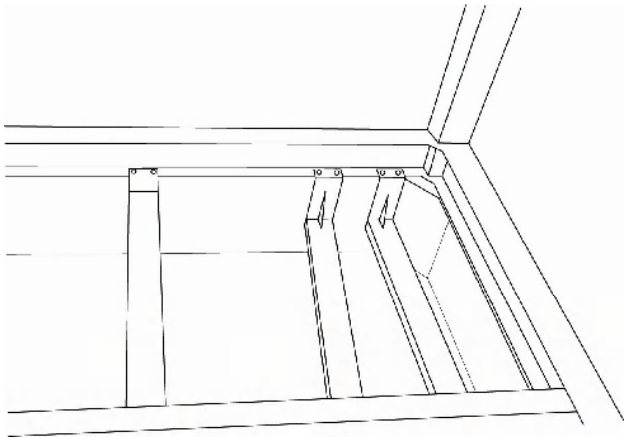
□　鋼製土台H鋼とC鋼の間に、吊り架台を取り付けてください

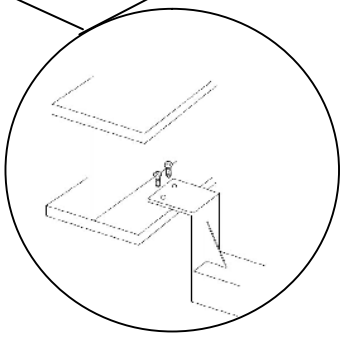


浴槽側



洗い場側



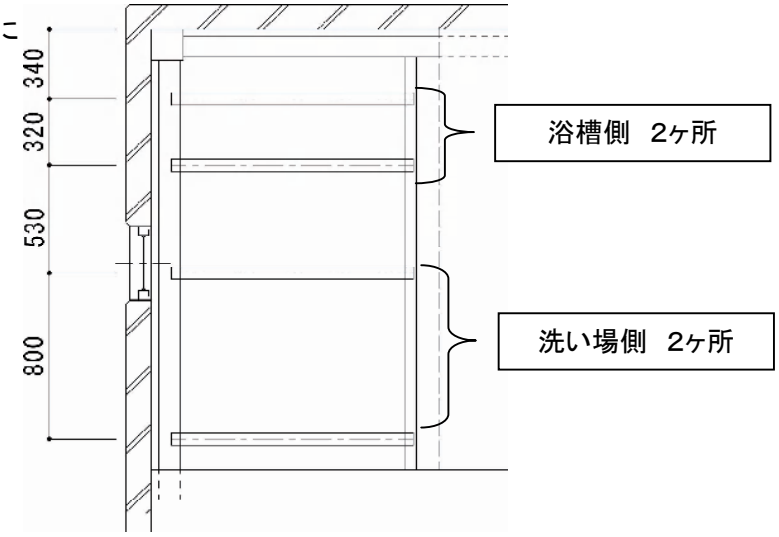


※タッピングビスを使用して下さい。
サイズ：φ5×19

【お願い】
吊り架台の取付寸法は、現品の防水パンの
脚位置を確認した上で取り付けてください。

□　吊り架台は浴槽側2ヶ所、洗い場側2ヶ所取り付けになります。

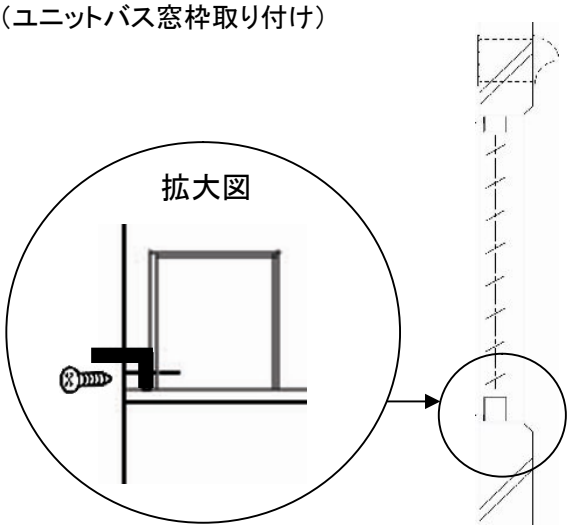
【注意！】
脚ボルトが吊り架台の中心に乗るように
して下さい。

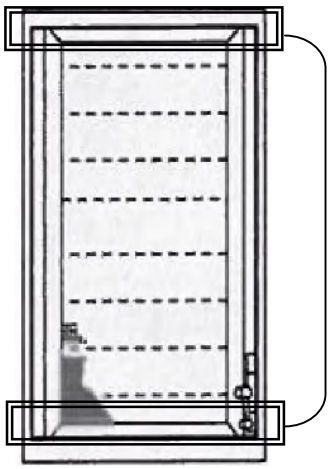


平面図

4　窓枠取り付け・アングルピースの取り付け

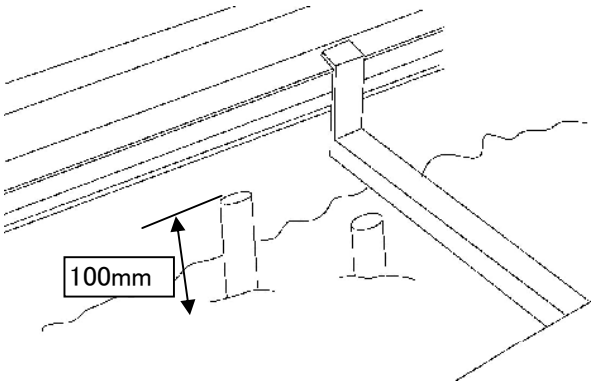
□　ユニットバス解体後、既設窓にアングルピースを取り付けます（図示）
（ユニットバス窓枠取り付け）





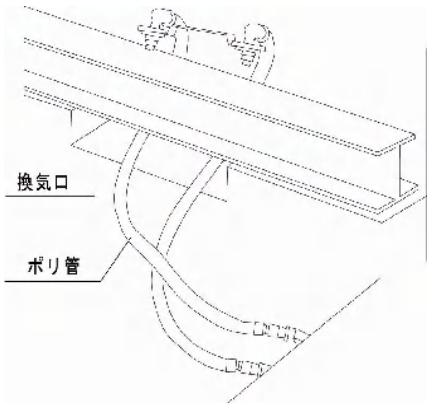
5　給水・給湯・排水管の取り回し・立上げ

□　既設配管を土間（GL）より100mm程度で切断してください
※接続しやすい長さで切断してください。



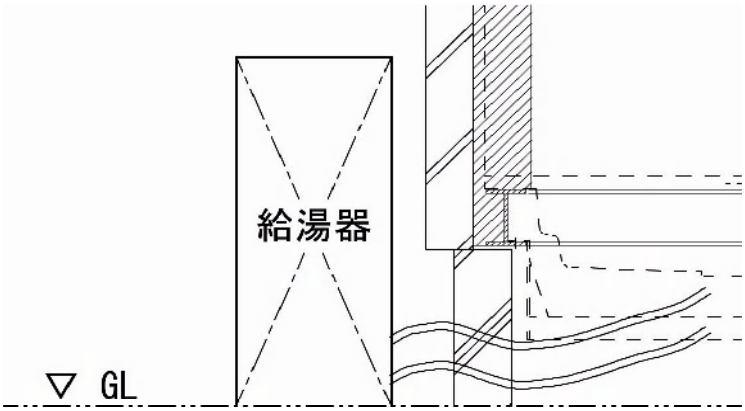
□　給水・給湯配管を立ち上げてください。

※既設の給湯・給水管に付属の
ポリ架橋管を継いで使用して下さい。



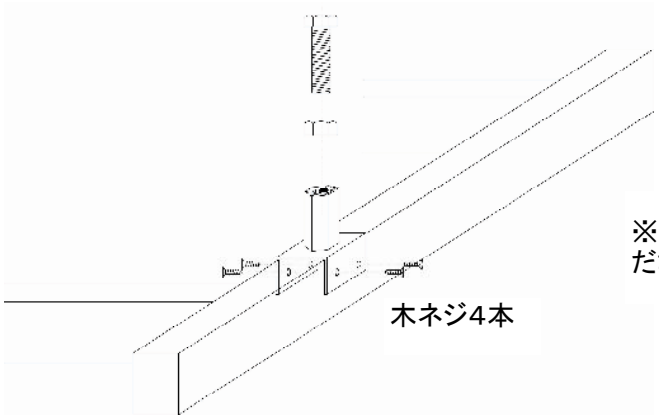
□　追い焚き管（オプション）を配管してください。
※給湯器のメーカー機種によって配管方法が異なるため、それぞれのメーカーの施工要領書に順じて施工してください。

【注意！】
強制循環方式の給湯器のみの仕様となっております。
自然循環式の風呂釜はには使用できません。

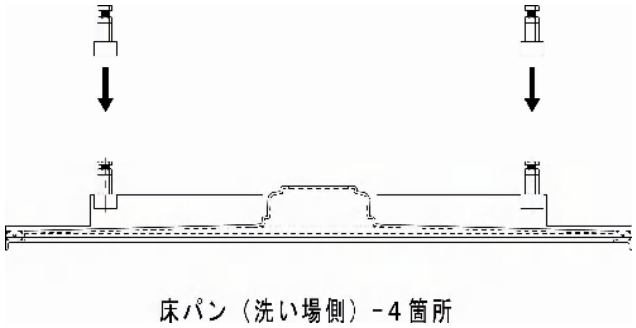


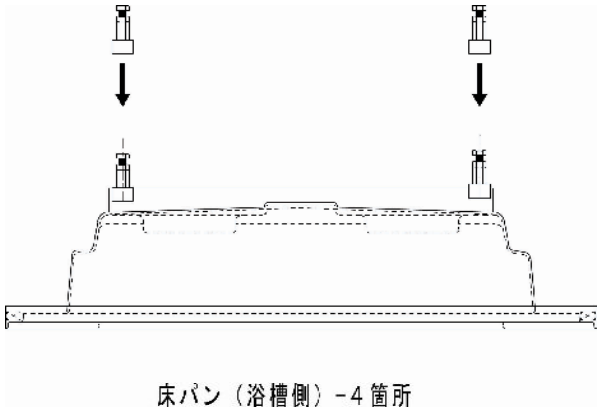
6　防水パンの取り付け

〈1〉 ボルト脚を取り付けてください。（後付けタイプ）



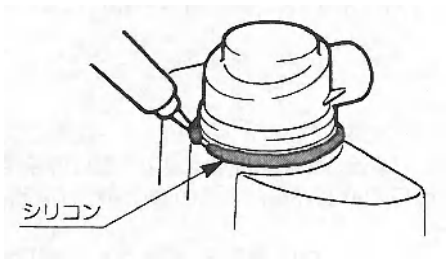
※防水パン裏面の補強枠に取り付けてください。


床パン（洗い場側）－4箇所


床パン（浴槽側）－4箇所

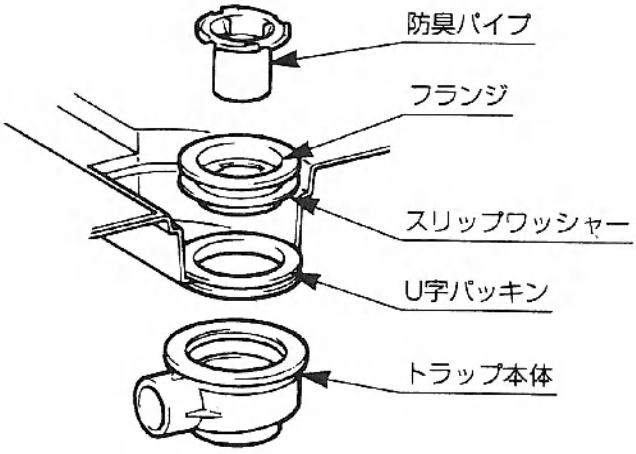
【注意！】
脚取付時は、脚ボルトの長さは最短の状態にして取り付けてください。

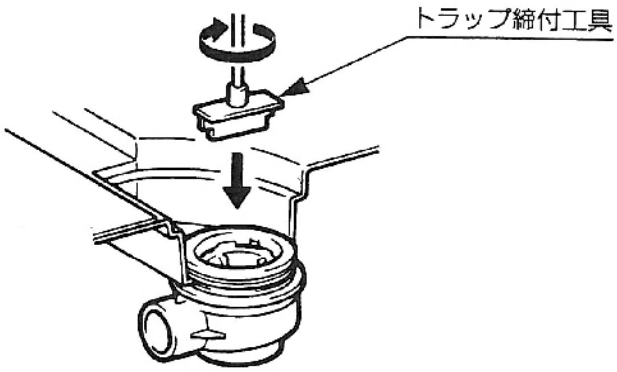
〈2〉 排水トラップを取り付けてください。



【注意！】
防水パンはハンドレイ製品ですので
トラップ取付には、シリコンを多用します。

U字パッキンの内外にシリコンを塗布して
下さい。



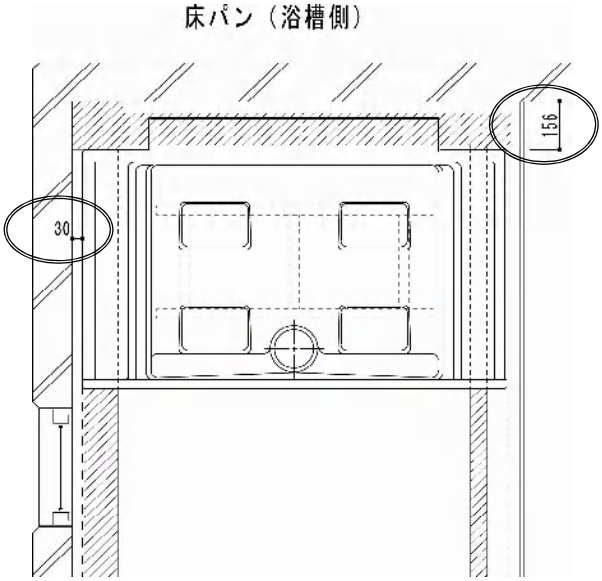


【浴槽側防水パンの据え付け】

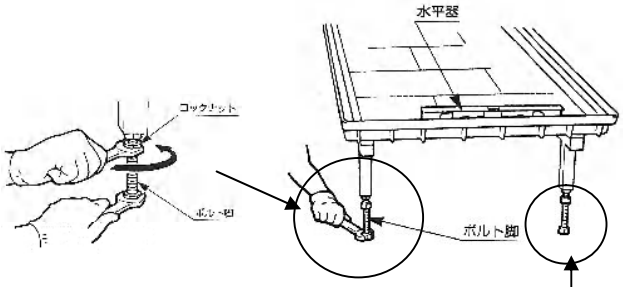
〈1〉 浴槽側防水パンを据え付けてください。

防水パン外周のフランジ部分を建物H鋼
土台に1度乗せてください。

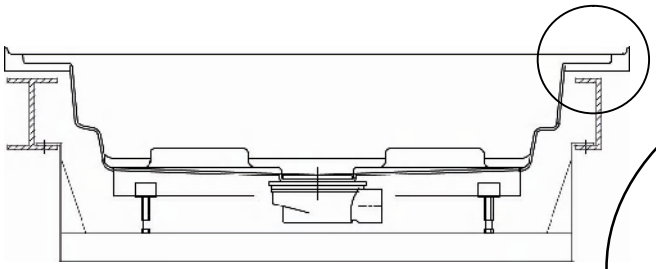
その後、最低の高さで水平になる様、
脚ボルトを調整してください。

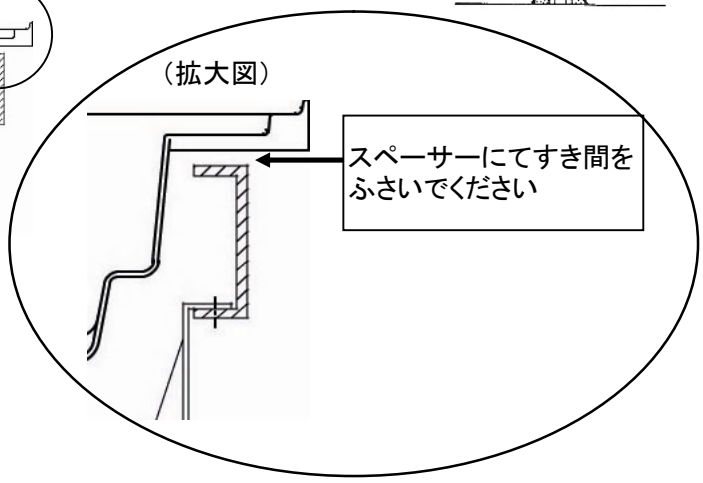


〈2〉 レベル調整し、調整後にスペーサーを取り付けてください

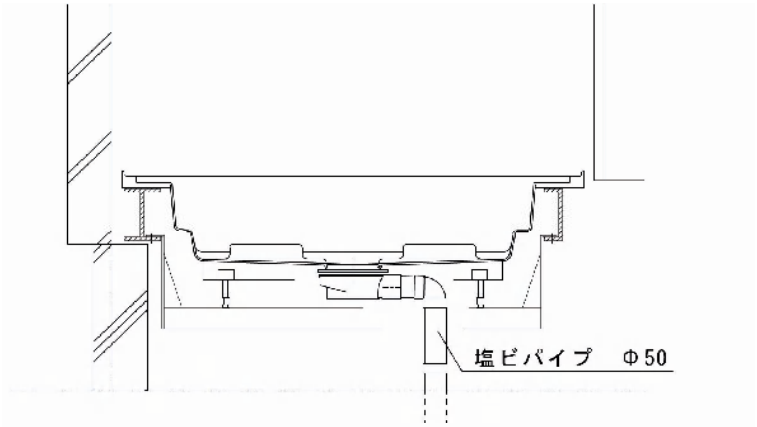


※水平調整後、フランジとH鋼土台の間に生じたすき間に
スペーサーを差し込んでください。
差し込んだスペーサーはシリコン等で固定をして下さい。



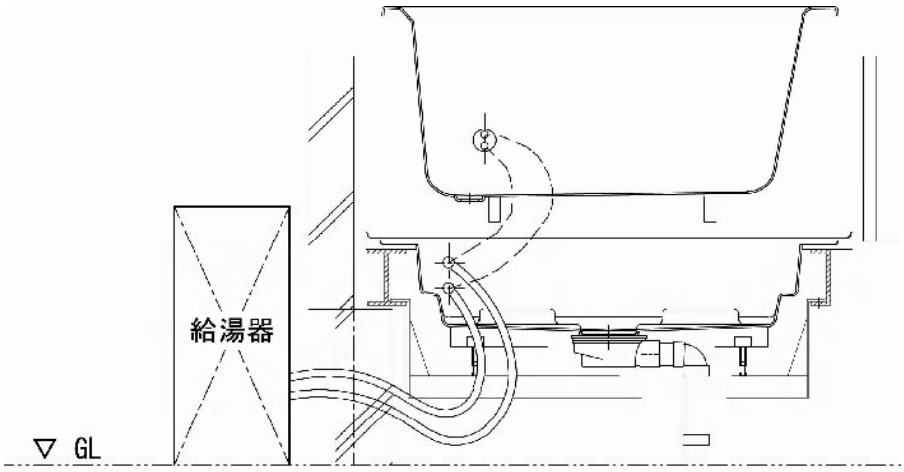


〈3〉 排水トラップと配水管を継いでください



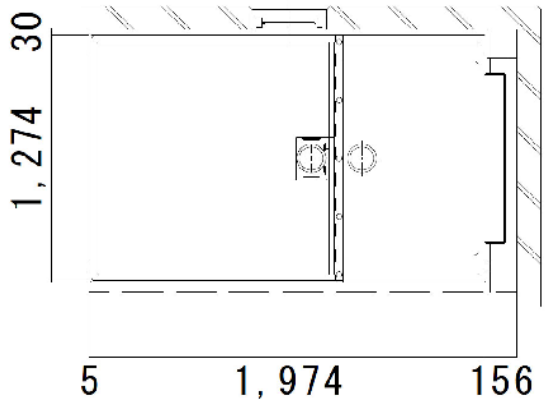
※既設排水管の立上げ位置は、各現場により異なります。

〈4〉 追い焚き管を継いでください （オプション）

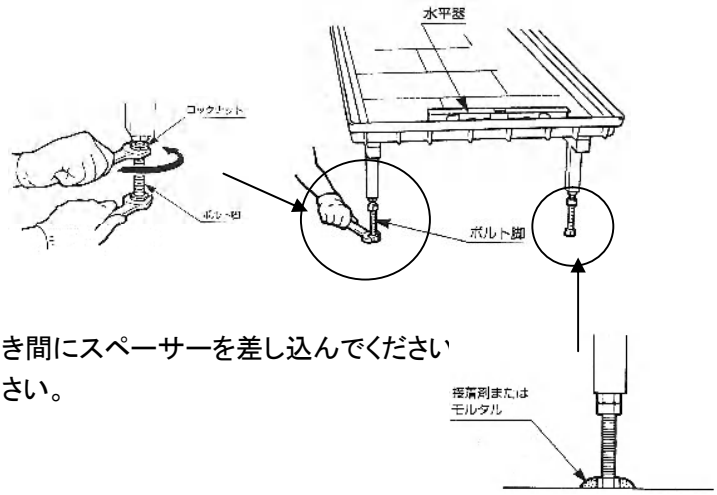


【洗い場側防水パンの据え付け】

〈1〉 洗い場側の防水パンを据付けてください



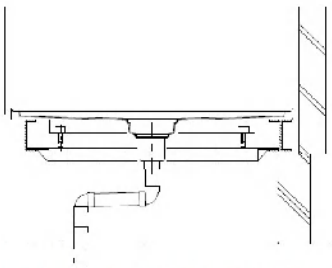
〈2〉 レベル調整し、調整後にスペーサーを取り付けてください



※水平調整後、フランジとH鋼土台の間に生じたすき間にスペーサーを差し込んでください
差し込んだスペーサーはシリコン等で固定をして下さい。

スペーサーにてすき間をふさいでください

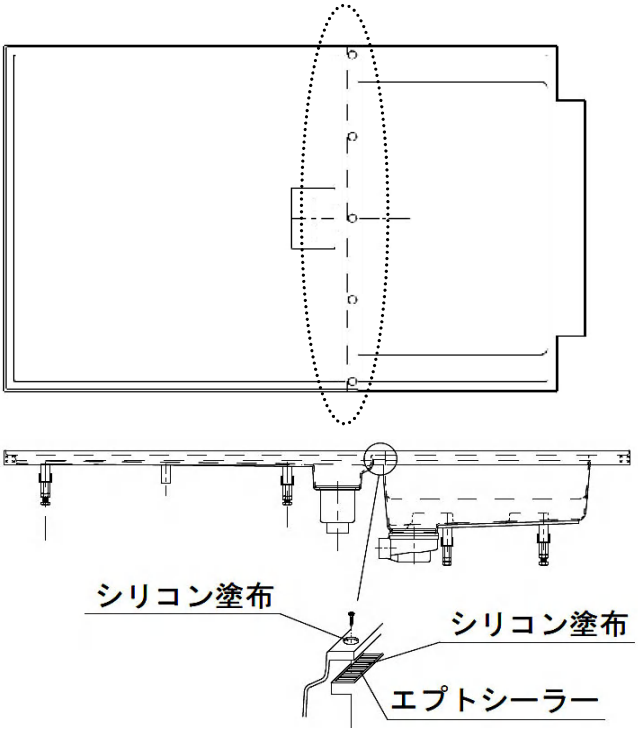
〈3〉 排水トラップと配水管を継いでください



※既設排水管の立上げ位置は、各現場により異なります。

【浴槽側防水パンと洗い場側防水パンとの接合】

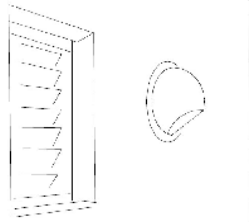
図のように、浴槽パンと洗い場パンを
重ね合わせ、ビス固定してください。
締め付け後、ビス上部にシリコンを
塗布してください。

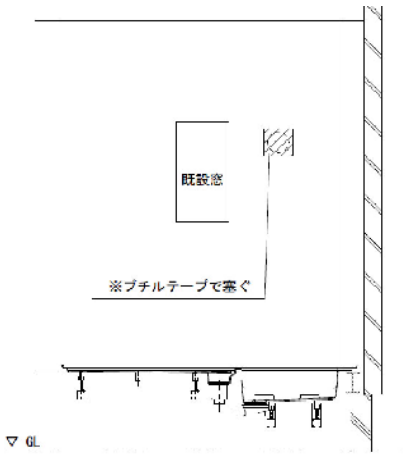


7　壁パネルの組立て（標準仕様/タイル壁）

〈1〉 既設の換気開口（壁面）をふさいでください（ブチルテープ）

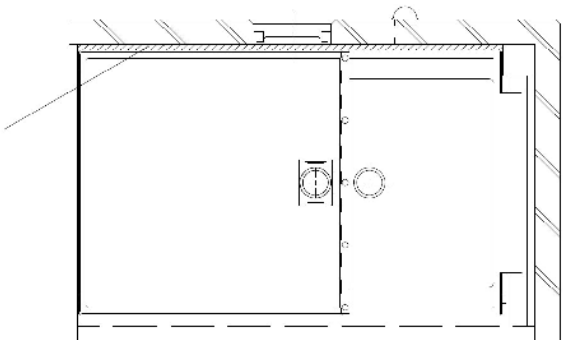
【注意！】
屋外側の防雨カバーは
そのまま残してください



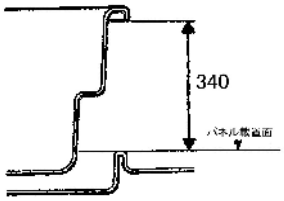


〈2〉 防水パンと外壁とのすき間をふさいでください

※外壁とユニットバスの間に
床下換気口からの外気が
流入しない様にすき間を
ふさいでください。



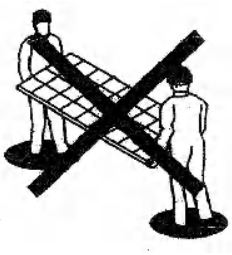
〈3〉 浴槽の仮調整

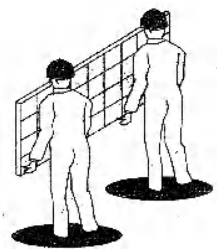


浴槽の高さを確認します。
所定の寸法がないときには、同梱のスペーサーにて調節して据付高さの確認及び手摺面での水平をとってください。

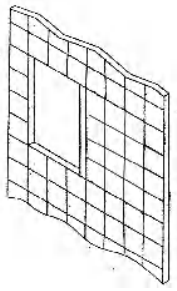
〈4〉 【事前準備】 パネル番号と寸法を確認お願いします
※パネル割付図に記入されたパネルがそろっているか、破損等がないかよく確認してください。

※壁パネルは起こして運んでください。（平らにして運ぶと目地割れする恐れがあります）

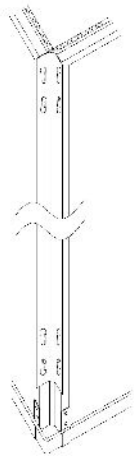




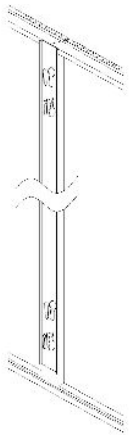
〈5〉 窓開口を開けてください
※既設窓の位置に合わせて現地加工してください



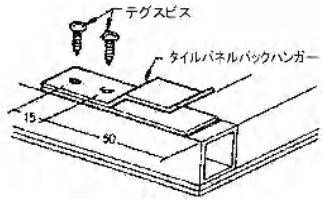
〈6〉 組立用部材を取り付けてください
コーナーつなぎ部材、平面つなぎ部材を所定のカラーワッシャー
テグスビスにて固定してください

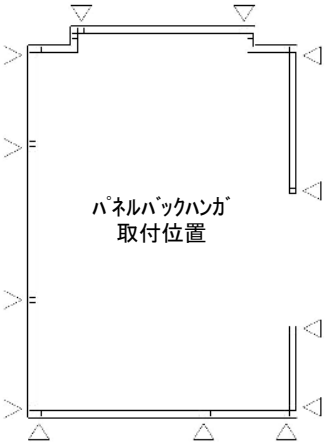


コーナー部分



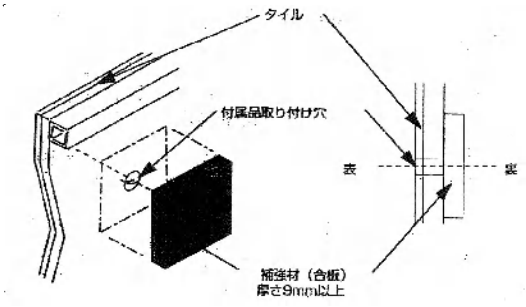
平面部分



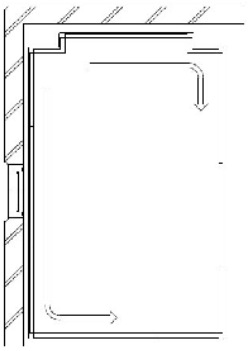


パネル割付図を確認しタイルパネル・バックハンガーを
取付けするパネルを確認してください
パネル裏面の縦フレームに所定の位置にバックハンガー
をテグスビスにて固定してください

〈7〉 器具取付用補強材（パネル裏面）の有無と位置を確認してください
（不足している部分に補強材を取り付けお願いします）

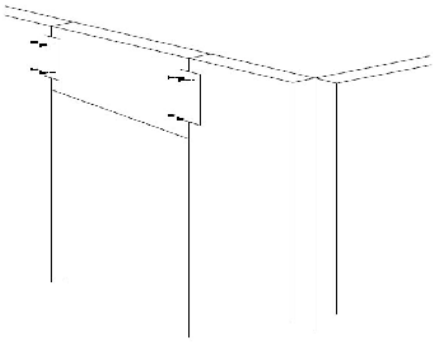


〈8〉 パネルの組立をおこなってください
パネルは入墨部分から順に組立て下さい
2枚のパネルをコーナーフレームで接続してください



【お願い】
パネル間の接続に際して、特に人が立った場合の目の高さ
でのパネル周りのタイル横目地の通りに注意して、パネルを
接続してください

〈9〉 最後にドア上パネルを取り付けてください



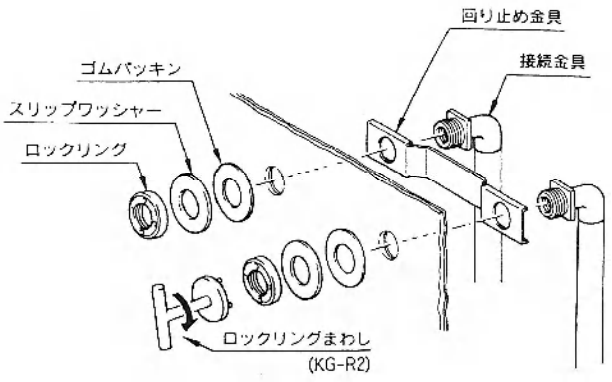
8 給湯・給水管の接続

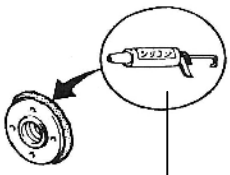
あらかじめ立ち上げてある給湯・給水管を
パネルの所定の位置にとりつけてください

〈1〉 ユニットバス内部よりロックリングを専用工具で
強固に締付けてください

〈2〉 ロックリング締付け後、ロックリングの回りを
シリコンコーキングしてください

【注意！】
湯・水の並びを間違えないよう注意して
セットしてください

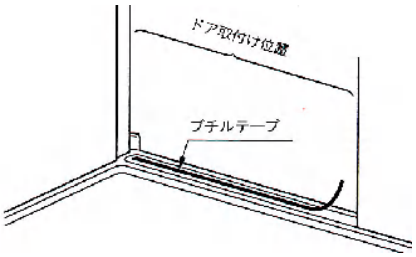




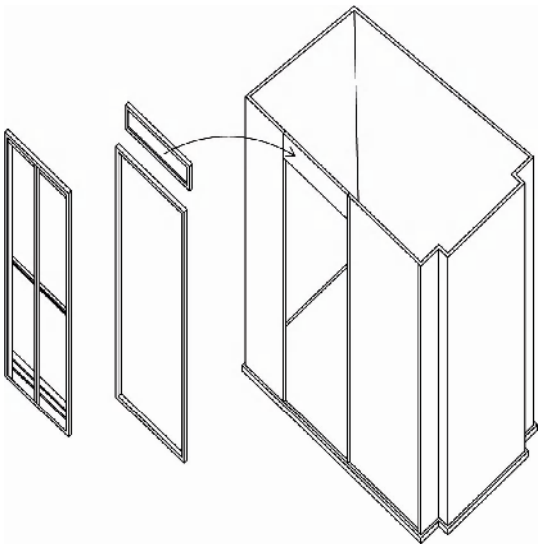
ロックリング締付け後、ロックリングの回りを
シリコンコーキングしてください

9　ドアの取り付け（標準/折り戸　・　オプション/開き戸）

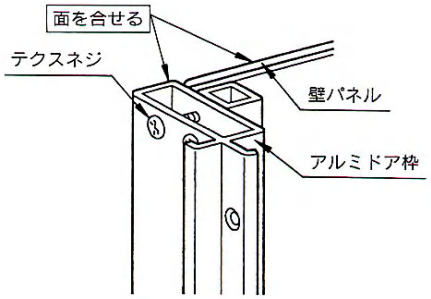
〈1〉 洗い場防水パンのドア取付け位置にブチルテープを貼ってください



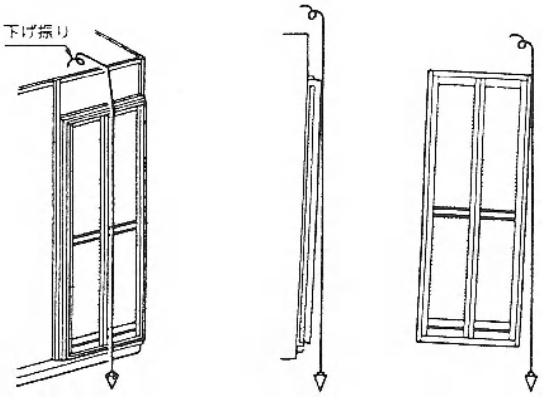
〈2〉 ドアに取っ手をとりつけください
※オプション/開き戸の場合はロックを取付けてください
取付け方法はロック梱包箱に印刷されています



〈3〉 パネル開口部へドア枠を納め、ドア枠内面と
パネル内面を同一面に合わせてください

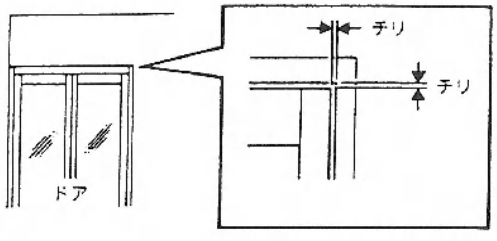


〈4〉 ドア枠上部の天井より下げ振りを下げ
ドアの建ちを正確にだしてください

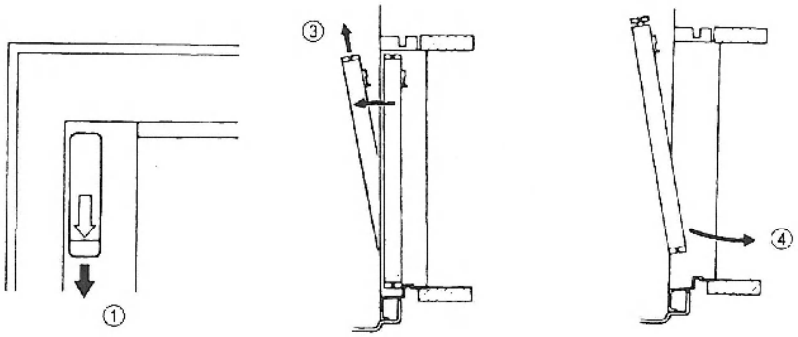


〈5〉 付属のビスでドア枠を固定してください

〈6〉 ドアの建ちと開閉具合を確認してください
※上下左右のチリが平均していることを確認してください



〈参考〉 折戸は戸車操作ツマミにより扉を筈ことができます

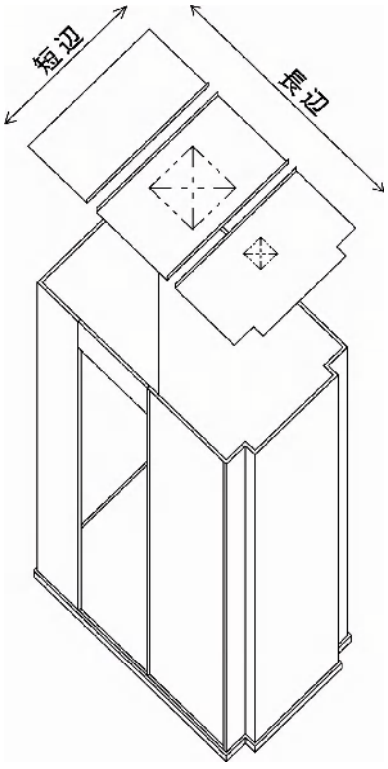


（外し方）　　（取付け方）

10　天井パネル取付

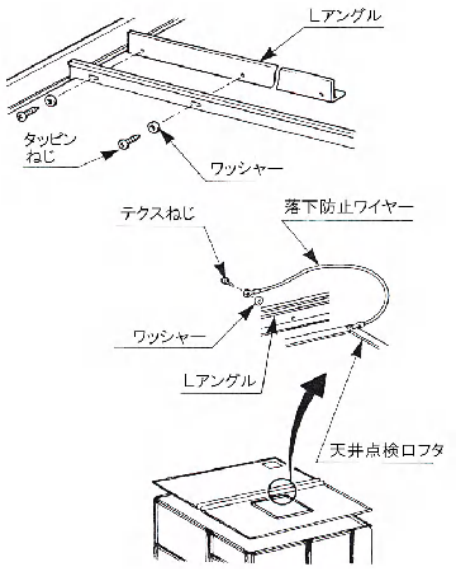
〈1〉 天井パネル養生フィルムをはがし、パネル上端部に仮置きしてください

〈2〉 長辺方向の天井パネルジョイント部と
壁パネルジョイント部分をあわせて下さい



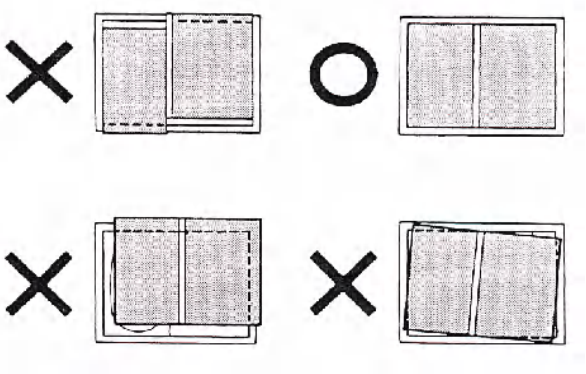
〈3〉 天井パネルを接続します。Lアングルを天井点検口のない天井パネルの接続部にあてて、Lアングルのないパネル側から、テクスビスで接続します。

この時同時に、天井点検口フタの落下防止ワイヤーをとりつけてください

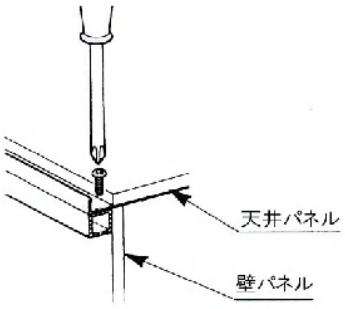


〈4〉 点検口蓋の固定
天井裏での作業が終了したら、点検口蓋を固定してください

〈5〉 短辺方向は左右に出幅の振り分けに注意下さい



〈6〉 天井パネル外縁部の折り返し面とパネルフレーム外面をあわせ、天井パネル外縁部付近にあいているビス用孔をガイドにとおして壁パネルフレームにテクスビスを固定してください



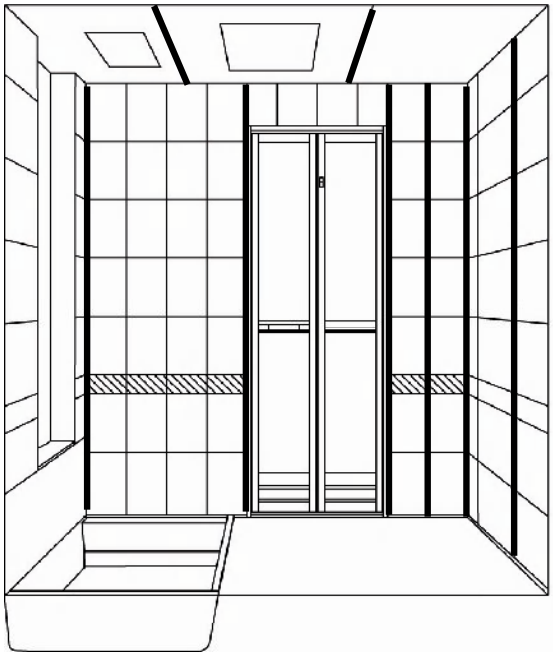
11 シリコンコーキング

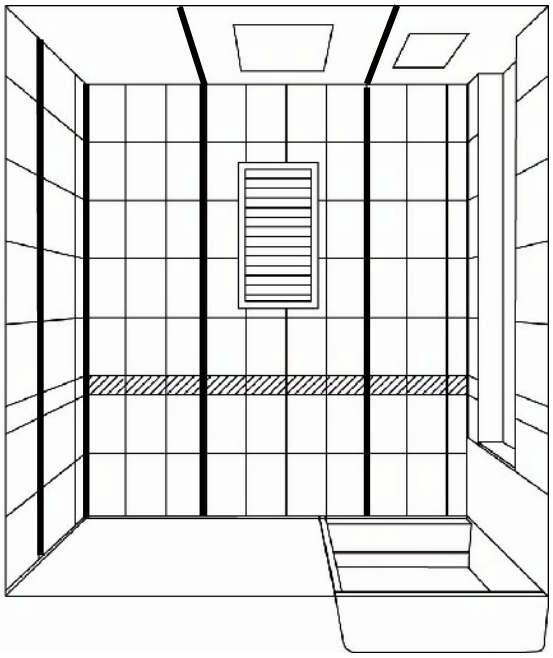
〈1〉 各接合部のほこり等を除去し紙テープを貼ってください

〈2〉 シリコンシーラー ノズルの先端を斜めにカットし、3～4mmの穴をあけコーキングガンにセットしてください。

〈3〉 各接合部にシリコンを充てんしてください

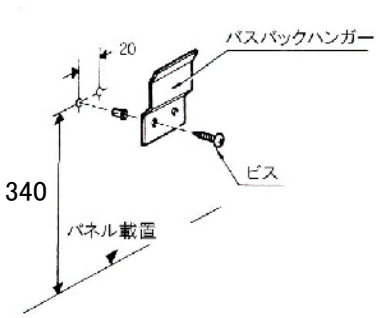
壁パネル・壁パネル接合部
壁パネル･防水パン接合部
壁パネル･ドア枠間
壁パネル・天井接合部
天井・天井接合部

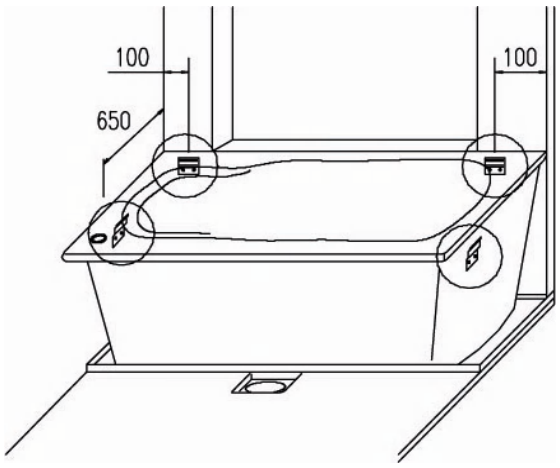




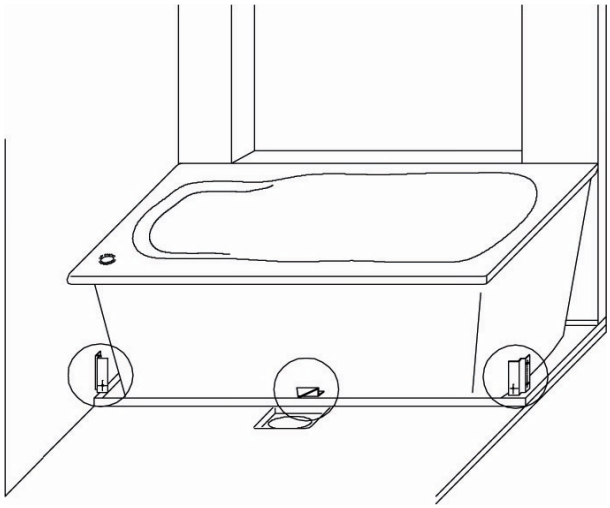
12　各種補助金具の取り付け

□　浴槽バックハンガーの取り付け（4ヶ所）

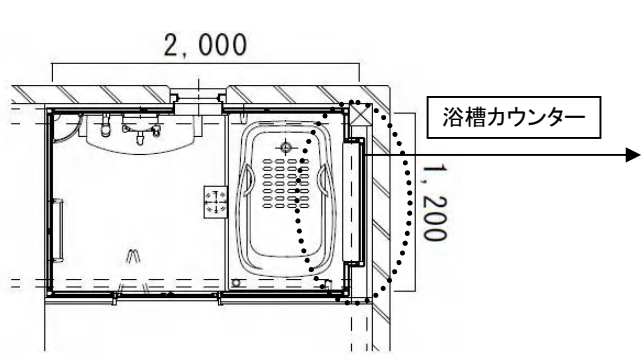


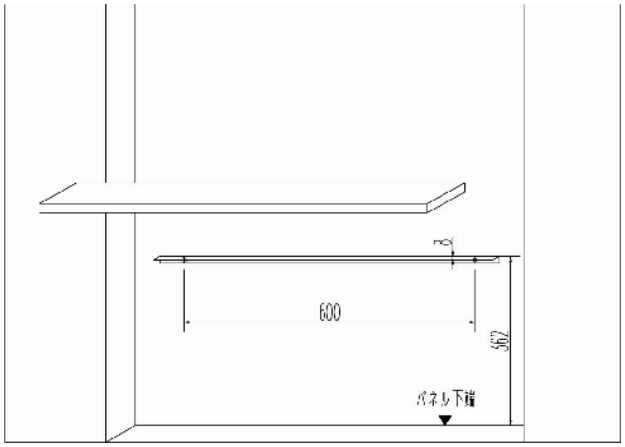


□　エプロン固定金具の取り付け（3ヶ所）

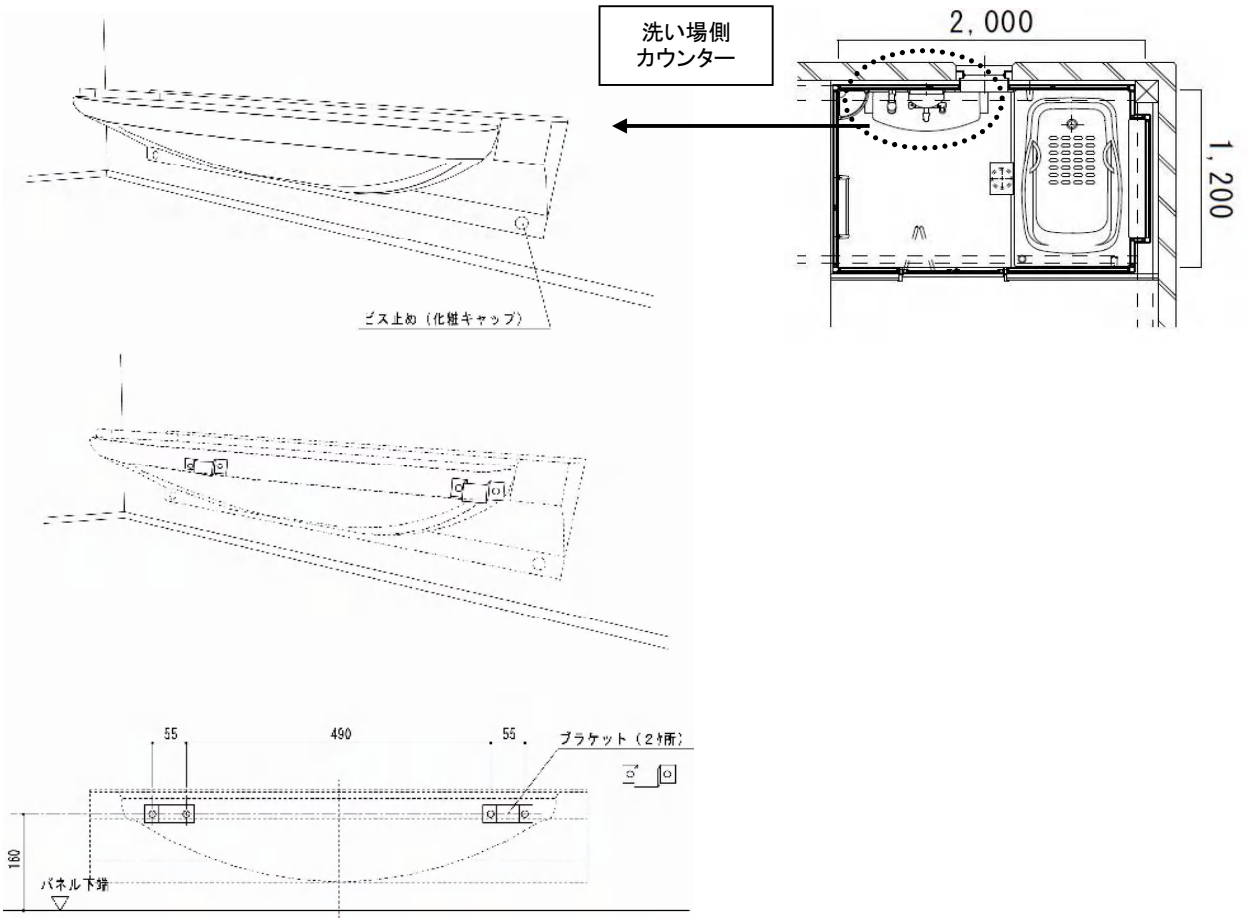


□　浴槽カウンター金具の取り付け（1ヶ所）



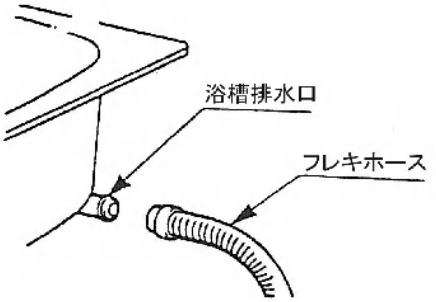


□　洗い場側カウンター金具の取り付け（2ヶ所）

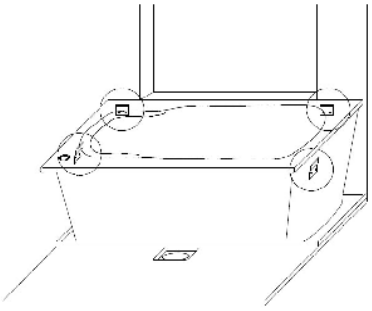


13 浴槽の取り付け

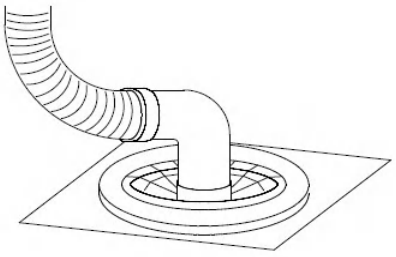
〈1〉 浴槽排水ホース取付
浴槽底面の排水口に付属のフレキホースを取付けてください



〈2〉 浴槽の据付
浴槽をユニット内に持ち込み、既に取付けたバックハンガー
に浴槽手摺折り返し部を差し込んでください。
据付け後、ガタツキがなことを確認してください。

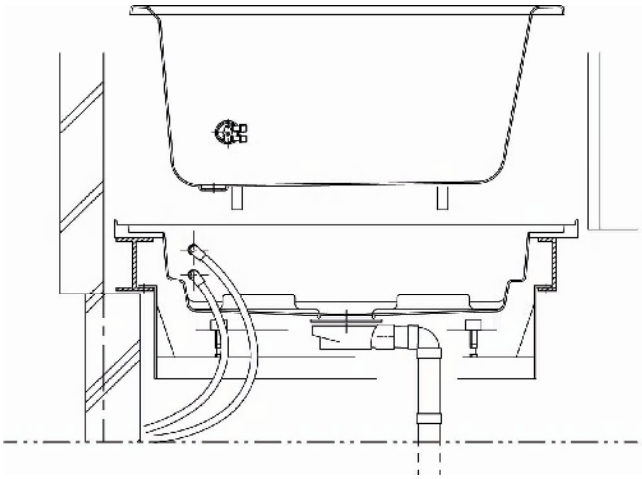


〈3〉 浴槽排水ホースの先端(エルボ)をパントラップに差しこんでください

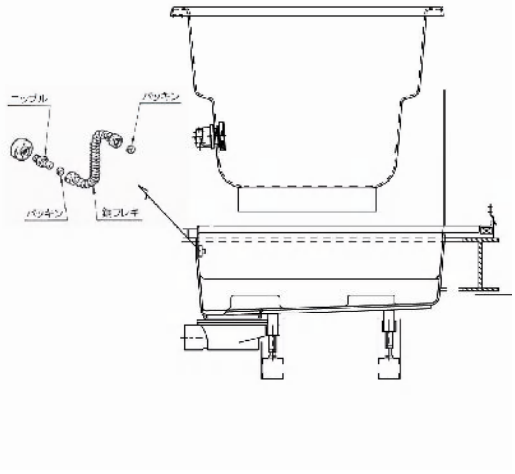


14 オプション/追い焚きについて

□ 追い焚き循環金具の取り付け

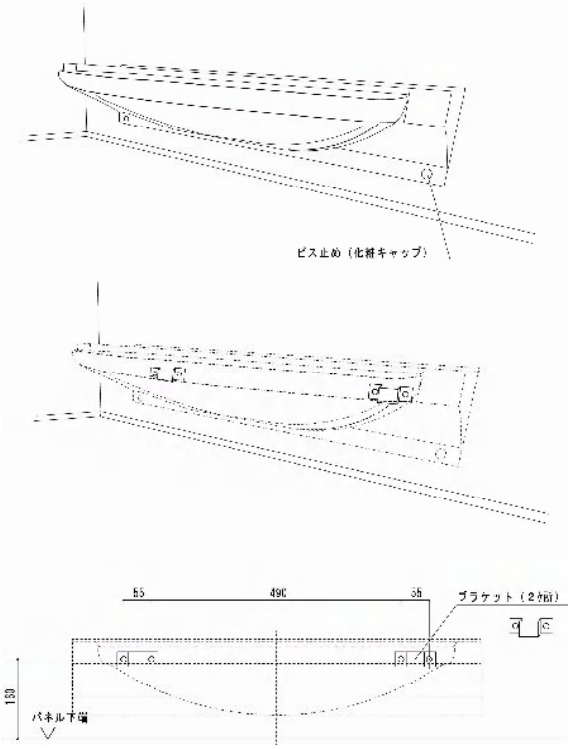


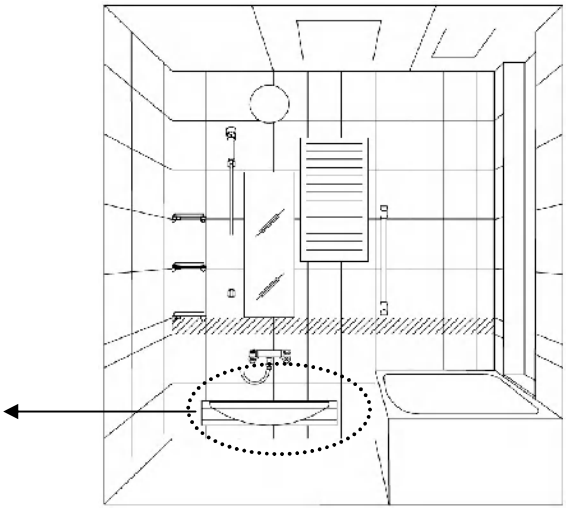
□ フレキ管を継ぐ



15　洗い場側のカウンターを取り付ける

□　洗い場側カウンターの取り付け



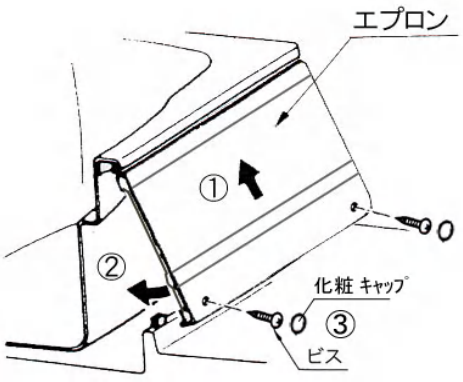


16　浴槽エプロンの取り付け

〈1〉 エプロン上部を浴槽フランジ下に差し込んでください

〈2〉 エプロン下部を押し込んでください

〈3〉 ビスを取り付け固定し、化粧キャップを取付けてください



17　器具の取付け

【注意！】

内装品の取り付けに際して、照明、鏡などの付属器具は、指定位置に確実に取り付けてください
使用中に落下したり外れたりして、ケガするおそれがあります

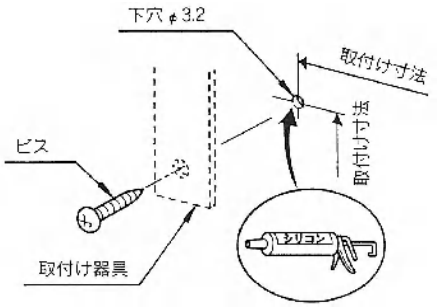
【お願い】

<u>器具により隠れる各接合部分は、あらかじめシリコンシーリングしてください</u>
内装品の器具取り付けは、取り付ける壁の材質により手順が異なります。
また、握りバー、タオル掛けなど壁の裏に補強プレートを使用するものは、器具ごとに定める手順にしたがってください

【標準/タイルパネル仕様の場合】

タイルパネル仕様の場合、下穴にプラグを用いてビス固定します

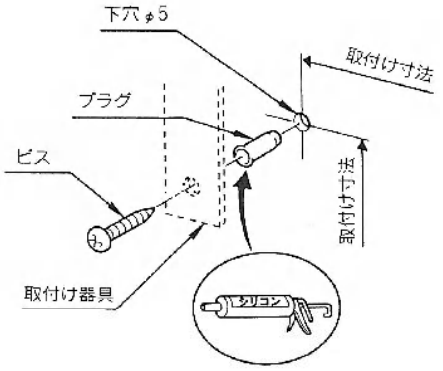
・器具の取付け位置を確認し下穴位置をマークします
・マークした位置にφ5の下穴を開口し、下穴にプラグを差し込み、シリコンを充填します
・器具を付属のビスで固定します

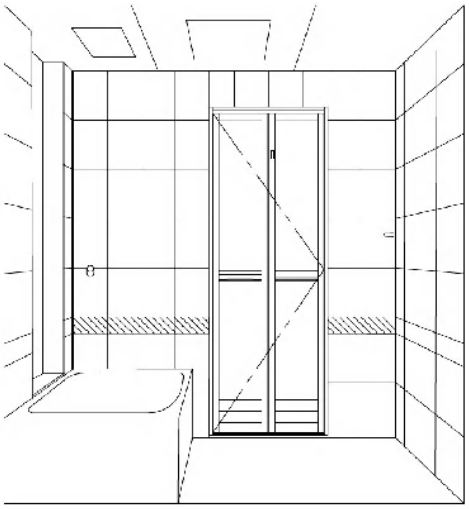


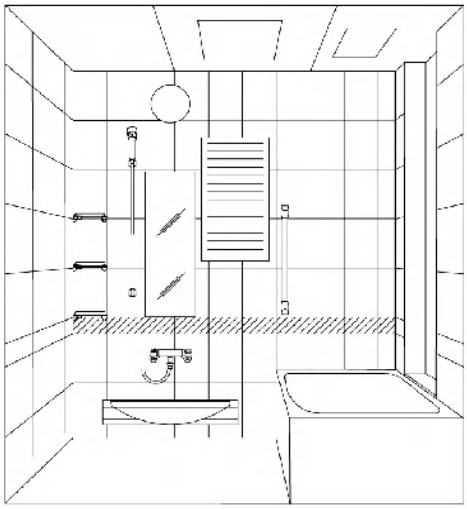
【オプション/鋼板パネル（ビアンコ柄）仕様の場合】

鋼板パネル仕様の場合は、下穴に直接ビスで固定します。

・器具の取付け位置を確認し下穴位置をマークします
・マークした位置にφ5の下穴を開口し、下穴にプラグを差し込み、シリコンを充填します
・器具を付属のビスで固定します





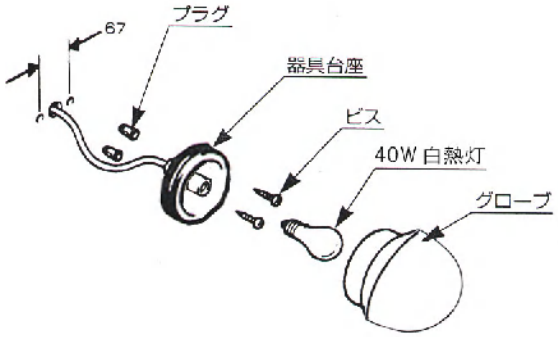


□　照明の取り付け

所定の位置に取付けてください

※商品に同梱されている施工説明書を

よくご確認の上、施工をおこなってください

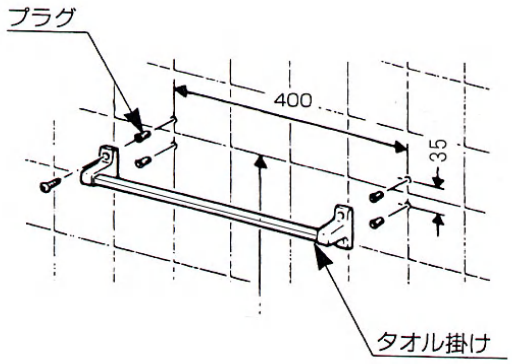


□　タオル掛けの取り付け

所定の位置に取付けてください

※商品に同梱されている施工説明書を

よくご確認の上、施工をおこなってください

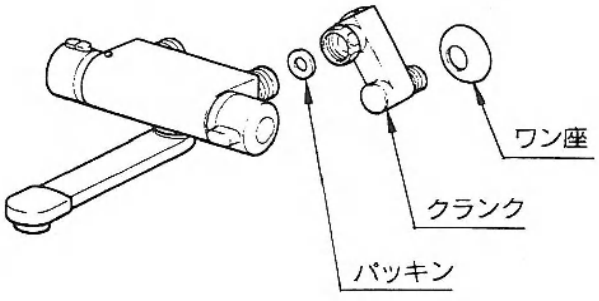


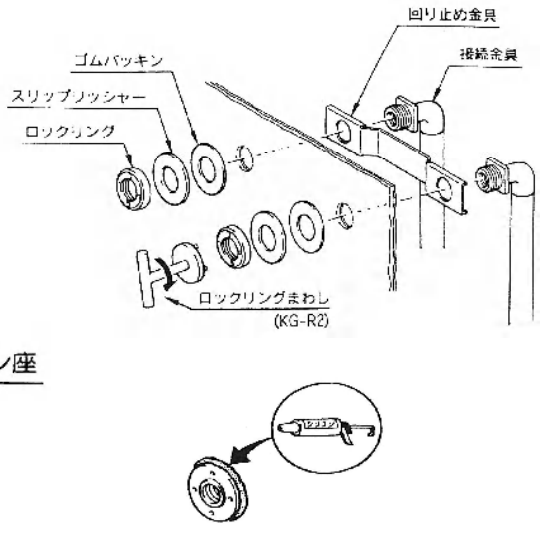
□　混合水栓の取り付け

所定の位置に取付けてください

※商品に同梱されている施工説明書を

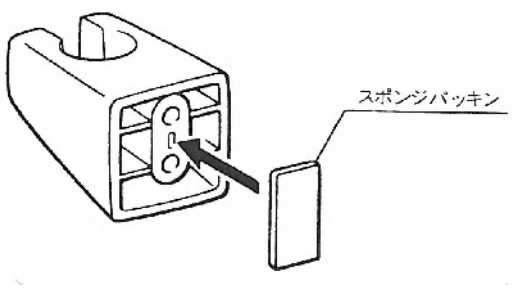
よくご確認の上、施工をおこなってください





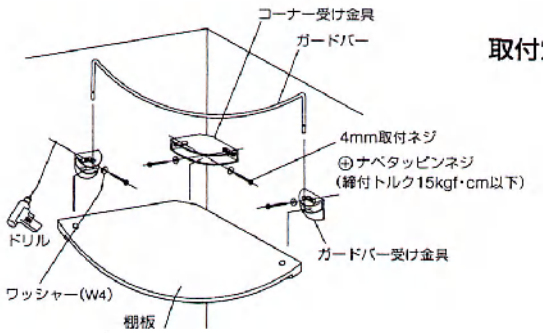
□　シャワーフックの取り付け

シャワーフック裏面の小判座の部分に付属の
スポンジパッキンの接着面を貼りつけ、
正目より下穴をあけ、付属のネジで壁パネル
の所定の位置に取付けてください。
※商品に同梱されている施工説明書を
よくご確認の上、施工をおこなってください

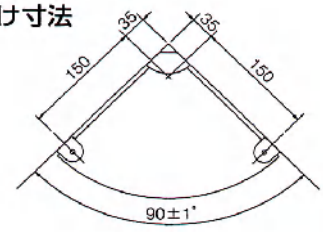


□　化粧棚の取り付け

所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書をよくご確認の上、施工をおこなってください

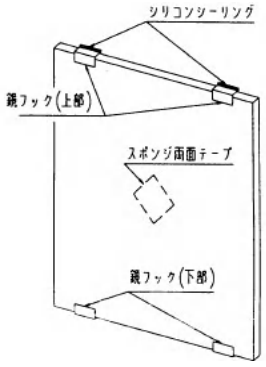


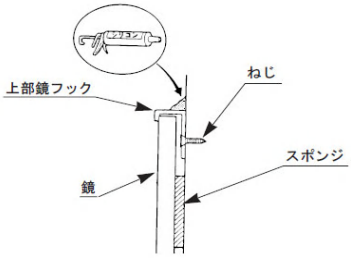
取付穴開け寸法



□　化粧鏡の取り付け

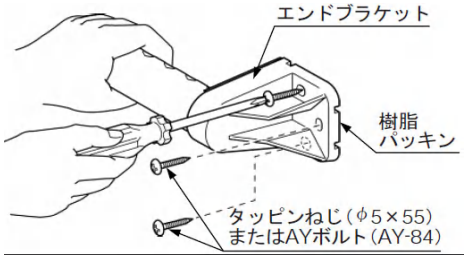
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書を
よくご確認の上、施工をおこなってください

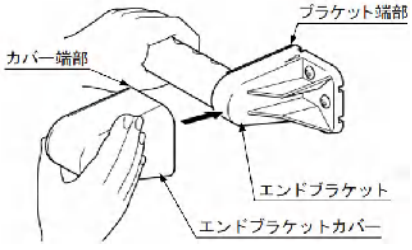




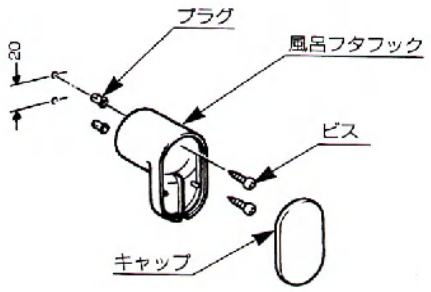
□　手すりの取り付け

所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書をよくご確認の上、施工をおこなってください





□　フロフタフックの取り付け
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書を
よくご確認の上、施工をおこなってください

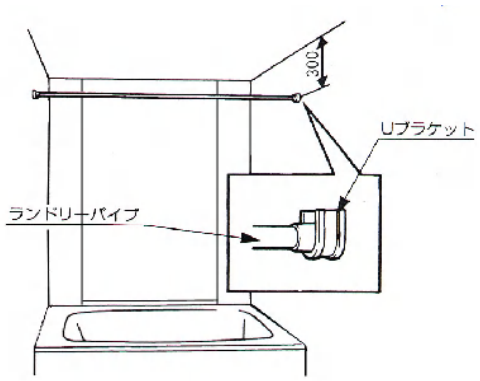


□　フリー窓枠の取り付け
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書をよくご確認の上、施工をおこなってください

□　換気扇の取り付け（標準）
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書をよくご確認の上、施工をおこなってください

□　浴室暖房乾燥機・リモコンの取り付け（オプション）
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書をよくご確認の上、施工をおこなってください

□　ランドリーバーの取り付け（オプション）
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書を
よくご確認の上、施工をおこなってください



□　給湯器リモコンの取り付け
所定の位置に取付けてください
※商品に同梱されている施工説明書をよくご確認の上、施工をおこなってください

18 施工後の確認

確認項目

ユニット本体の組立状況・納まり		器具類の取付状態
防水パン	□ ① 床鳴りはないか □ ② 足固定は良好か □ ③ たわみ、変形、ガタつきはないか □ ④ 据付位置は正確か □ ⑤ 水平に設置されているか	□ ① 各器具の取付位置の間違いはないか □ ② 水栓金具にグラつきはないか □ ③ シャワーフックにグラつきはないか □ ④ トラップ・排水管に緩みはないか □ ⑤ 照明器具にグラつきはないか
壁パネル	□ ① 接合部は頑丈に接合されているか □ ② 接合部の凸凹はないか □ ③ 壁パネルのそり、変形はないか □ ④ 目地合わせが出来ているか	□ ⑥ 換気口にグラつきはないか □ ⑦ 収納棚はきちんと固定されているか □ ⑧ タオルバーにグラつきはないか □ ⑨ 握りバーにグラつきはないか
天井パネル	□ ① しっかり固定されているか □ ② 天井パネルのそり、変形はないか □ ③ 点検口がきちんと収まっているか □ ④ 落下防止ワイヤーが取り付いているか	キズ、破損、汚れ
ドア	□ ① 水平、垂直は正確か □ ② 扉周囲のチリは均一か □ ③ 扉の開閉はスムーズか □ ④ ロック、ラッチの作動は良好か	□ ① 床パン □ ② 壁パネル □ ③ 天井パネル □ ④ バスタブ、エプロン □ ⑤ カウンター □ ⑥ 扉（枠、面材） □ ⑦ 器具類 □ ⑧ 収納棚 □ ⑨ 窓（枠、面材）
窓	□ ① しっかり固定されているか □ ② 窓、枠のそり、変形はないか □ ③ ガタつきはないか	
バスタブ エプロン	□ ① 入ったとき異音がしないか □ ② そり、変形はないか □ ③ ガタつきはないか □ ④ すき間は均一か	機能
カウンター	□ ① そり、変形はないか □ ② ガタつきはないか □ ③ すき間は均一か	□ ① 水栓器具の吐水状態は正常か □ ② 排水金具の吐水状態は良好か □ ③ 配管から漏水がないか
シーリング	□ ① シーリングは全てされているか □ ② シリコンの切れはないか □ ③ 仕上がり状況は良好か	

20　参考資料（PALC外壁貫通穴加工）

※添付資料をご確認ください